



PJP Checker

取扱説明書

PJP Checkerは、PJPをご購入いただく前に、お客様のネットワーク環境でPJPの通話が可能かどうかテストするためのアプリケーションです。本アプリケーションを使用すると、下記の4点をテストすることができます。

- PJPで使用するポートの設定
- NAT、SIP-NATの設定
- パケットロス率
- PJP使用時の帯域

本アプリケーションを使用する前に、必ず本書をよくお読みください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本アプリケーションの仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 情報の消失など、本アプリケーションの使用により発生したあらゆる損失に関して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- PJP Checker：本アプリケーション
- IP電話会議システム：PJP
- Microsoft® Windows Vista®：Windows Vista
- Microsoft® Windows®：Windows
- Microsoft® Windows XP®：Windows XP

設定例について

本書に記載されているIPアドレスなどの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ず実際のネットワーク構成に合わせた設定値をお使いください。

商標について

Microsoft、Windowsは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。

PCの仕様

本アプリケーションを使用するPCには、以下のシステム環境が必要です。

- OS：Windows Vista (32bit 版)、Windows XP SP2 以上(32bit 版)
- ネットワーク：TCP/IP

ネットワーク環境をテストする

本アプリケーションは、PJPの代わりに2台のPC間で通信が可能かどうかをテストします。ここでは、接続を受けるPCをサーバ、接続するPCをクライアントとし説明します。

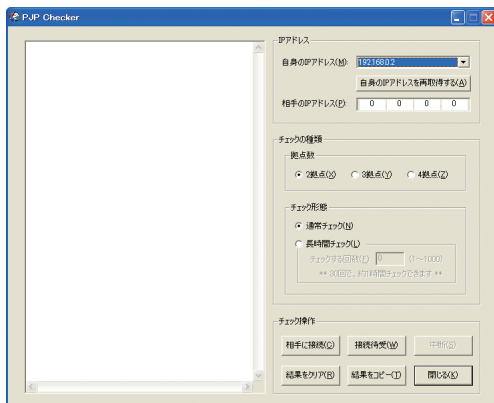
ご注意

- PCを2台ご用意ください。
- PJPを接続する回線にPCを接続してください。
- それぞれのPCにPJP Checkerをインストールしてください。
- Windowsファイアウォールを「無効」に設定してください。また、お使いのセキュリティソフトによって、パケットをブロックする場合があります。その際は、セキュリティソフトを停止してください。
- テストの際はPCを有線LANで接続してください。無線LANでテストをすると正確な判定ができません。
- テストの際は他のアプリケーションは停止してください。
- テスト結果はクライアント側の画面に表示されます。

1 ダウンロードしたファイルを、任意のフォルダに解凍する。

2 「PJPChecker.exe」をダブルクリックする。

PJP Checkerが起動します。



サーバ側

3 「自身のIPアドレス」からテストで使用するIPアドレスを選択し、「接続待受」をクリックする。

接続の待受け状態になります。

ヒント

ネットワークの設定を変更したなどの理由でIPアドレスを再取得したい場合は、「自身のIPアドレスを再取得する」をクリックしてください。

クライアント側

4 「相手側のIPアドレス」に、サーバ側のIPアドレスを入力する。

5 「チェックの種類」からテスト内容を設定する。

拠点数：

複数拠点で接続する際に、必要な帯域が確保できるかを計測できます。自分を含めた接続拠点数を選択してください。

チェック形態：

長時間の会議を想定する場合に、「長時間チェック」を選択してください。また、「チェックする回数」には通常チェックを何回繰り返すか指定します。

6 「相手に接続」をクリックする。

テストが開始され、「PJP Checker」画面の左側にテスト結果が表示されます。

テストを中断する場合は

どちらかのPCで「中断」をクリックします。

テスト結果について

テスト結果をWindows標準のメモ帳などに貼り付け、テキストファイルとしてPCに保存することができます。その際は、「結果をコピー」をクリックしメモ帳に貼り付けてください。また、テスト結果を消去する際は、「結果をクリア」をクリックしてください。

アンインストールについて

PJP Checkerをアンインストールするには、解凍したファイルを削除してください。